

〈庭がかり〉……①出は、②きり、③弓、④きり、⑤歌、⑥岡崎、⑦雌獅子かくし、⑧岡崎、⑨入りは  
〈山がかり〉……①出は、②きり、③山がかり、④きり、⑤歌、⑥岡崎、⑦雌獅子かくし、⑧岡崎、⑨入  
りは

次に「庭がかり」の振りの詳細を述べる。

① 出 は……太鹿、雌獅子、後鹿の順で横に並ぶ。腹太鼓を打っては右の手足を右に伸ばし、左手を頭にあててやや腰を下げ、さらに打っては後を向き、先と反対に左の手足を左に伸ばし、右手は頭にあてて腰を下げる。これを繰り返しながら舞庭を大きくまわる。もどって立ち、両手を頭のわきでまわして終わる。

② き り……頭を左右に早く振りながら、三匹並んで右に進み、続いて、今度はゆっくり振りながらもどる。頭のわきで両手をまわして終わる。

③ 弓……弓を二ちょう持ち出して、太鹿と後鹿の二匹ずつくぐる舞である。

まず、太鹿が正面にある一方の弓に近づいて、両手で弓と糸を持ち、二回頭を突き出すようにして縦に振る。一旦もどって再び弓を持ち、同じく二回振る。さらにもどって三回目にはすぐぐり抜ける。続いて後鹿も太鹿と全く同様に二回弓を持って頭を振り、三回目にくぐり抜ける。この時、同時に太鹿は他方の弓をくぐり抜け、続いて後鹿も他方の弓をくぐり抜ける。雌獅子は終始同じ位置で舞っている。三匹が横に揃ったところで腹太鼓を打っては、左手を頭にあてて、左を前に伸ばして上体を二回前に倒す。次に、それぞれ各自の位置で右まわりにまわり、正面を向いて片方の手足を交互に伸ばして腰を下げること